



訪問ガイド 2026

美術史美術館

ウィーン・から 22€

<https://kunsthistorisches.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

ハプスブルク帝国の芸術的遺産

GOOGLE **4.8** ★★★★★ 35 281レビュー

TIQETS **4.7** ★★★★★ 2 391レビュー

ウィーン・美術史美術館（KHM）は、フランツ・ヨーゼフ 1世の命により、ハプスブルク家が数世紀にわたり収集した膨大な芸術品を収容するために建設されました。1867年の計画を経て1871年に着工し、1891年10月17日に開館したこの建物は、ルーヴルやエルミタージュのような旧宮殿ではなく、博物館として最初から設計された世界初の近代美術館の一つです。

建築はネオ・ルネサンス様式で、対向する自然史博物館と鏡像のように配置され、芸術と科学の調和という帝国のビジョンを体現しています。多色大理石と金箔装飾が施された内部空間は、皇帝の権威を称える壮大な舞台装置として機能し、訪れる者を圧倒します。

コレクションは古代エジプトから18世紀末まで5千年間の芸術史を網羅しており、特にルネサンスとバロック期の作品が世界的に著名です。地下にはエジプトおよび近東の遺物、1階には絵画が展示され、ピーテル・ブリューゲル父の世界最大級のコレクションを含む約25,000点の常設展示が目を引きまします。

2024年には約195万人の来場者数を記録し、ウィーンを代表する文化施設としてその地位を確立しています。単なる展示場を超え、建築自体が芸術作品であるこの空間は、歴史と美学が融合した唯一無二の体験を提供し続けています。

体験

マリア・テレジア広場に面した壮麗なファサードをくぐり抜けると、まず目に飛び込んでくるのは、英雄の階段を飾るクリムトらのフレスコ画です。光がドームから差し込み、多色大理石の床が反射することで、空間全体が神秘的な輝きに包まれます。足音だけが響く静寂の中で、ハプスブルク家の栄華を感じ取ることができます。

階段を上る行為自体が没入型の視覚体験となり、次の展示室への期待を高めます。広々としたホールでは、古代の彫刻からバロックの絵画まで時空を超えた対話が生まれ、訪問者は単なる観客ではなく、歴史の証人となるのです。



訪問の準備

実用的な情報

住所

インナーシュタット地区 ・ 地下鉄：カーントナーシュトラーセ駅（U2）またはヘレンガッセ駅（U3）、徒歩5分。

営業時間

毎日10時～18時開館。注意：木曜日は21時まで遅くまで開館しています。祝日についてはご確認ください。

料金

大人は22€から。19歳未満は無料。提携博物館向けのコンボパスも利用可能です。

所要時間

見どころ（階段、ブルゲル展室）には最低2時間を確保してください。エジプト遺跡やイタリア絵画を含む完全な没入型見学には3～4時間を見込んでください。

写真撮影

常設コレクションでは通常、フラッシュや三脚なしの写真撮影が可能です。特別展の場合は、カメラを取り出す前に必ず個別の制限をご確認ください。

対象者

古代美術愛好家や好奇心旺盛な家族に最適。オーディオガイドにより、ティーンエイジャーにもアクセスしやすい内容です。広大なスペースのため、歩きやすい靴をご用意ください。

アクセス方法

アクセス & 交通手段



地下鉄

: リング通り — 1 min à pied

ウエスト駅 (11 min)・ウィーン中央駅 (ズートティローラー・プラッツ) (11 min)



バス

: フォルクステアター — 4 min à pied

ウエスト駅 (16 min)・ウィーン中央駅 (ズートティローラー・プラッツ) (17 min)



自転車

ウエスト駅 (9 min)・ウィーン中央駅 (ズートティローラー・プラッツ) (10 min)



自転車

ウエスト駅 (11 min)・ウィーン中央駅 (ズートティローラー・プラッツ) (12 min)

LOCALISATION

Où se trouve 美術史美術館？



📍 Maria-Theresien-Platz – 1010 ウィーン

🌐 48°12.277' N, 16°21.658' E



組織

階層別コレクション構成

地下・1階（古代遺物）

地下と1階にはエジプトおよび近東の遺物、ギリシャ・ローマの古代美術が展示されています。エジプト部門では1万7,000点中の4,000点が公開され、トウトモス3世の胸像や青いヒポポタマス像が見どころです。古代ギリシャ・ローマ部門では、ゲマ・アウグスタやナギセンティミクロシュスの宝物など、3千年にわたる芸術の変遷を追うことができます。

2階（絵画ギャラリー）

2階は主に絵画が展示されており、左翼にはフランドル、オランダ、ドイツ派、右翼にはイタリア、スペイン、フランス派の作品が並んでいます。ピーテル・ブリューゲル父の専用室では『墮天使の落下』などの傑作を鑑賞でき、レンブラントやカラヴァッジョの名作も収蔵されています。広大なスペースのため、オーディオガイドの利用が推奨されます。

3階・ドーム（特別展・図書館）

3階には附属ギャラリーや特別展示スペースがあり、季節ごとにテーマが変わります。中央ドームは巨大な絵画と豊かな装飾で飾られ、建築的な演出の頂点です。また、学術資料を収蔵する図書館も併設されており、研究者や深い関心を持つ訪問者にとって貴重な資源となっています。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

エレベーターとスロープによるバリアフリーアクセスが保証されています。一部の歴史的空間では、一時的な支援が必要です。

ファミリー向け

オーディオガイドや魅力的な考古学セクションを備え、家族連れにも適しています。見学時間は調整可能です。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

必見の傑作と隠れた宝石

01 グスタフ・クリムト ら 中央階段

英雄の階段 (Heldenstiege)

1891年の開館時に完成した記念碑的な階段は、単なるアクセス路ではなく主要な芸術作品です。クリムト、マッツ、マルクトらによるフレスコ画は、ハプスブルク朝下の芸術と科学を称賛し、階段を上る行為を没入型視覚体験に変えています。天井のドームとの一体感が圧巻です。

💡 カノヴァの彫刻「テセウスとケンタウルス」が階段の踊り場に配置され、古典と近代の対話を象徴しています。

02 ピーテル・ブリューゲル父 ブリューゲル室

墮天使の落下

フランドル・ルネサンスの最高峰ともいわれるこの作品は、天界から地獄へ落ちる天使たちの混沌を描いています。細密な描写とドラマチックな構図は、見る者の心を揺さぶります。早めの到着が混雑を避け、落ち着いて鑑賞することを保証します。

💡 この作品は帝国による収得を通じて収集され、世界最大級のブリューゲルコレクションの一部として知られています。

03 ローマ時代匿名 古代ギリシャ・ローマ部門

ゲマ・アウグスタ

オニキスで作られた巨大なカメオで、アウグストゥスとその家族の勝利を祝っています。古代ローマの宝石工芸の頂点であり、その精巧さは現代でも驚異的です。光の角度によって異なる表情を見せるため、じっくり観察してください。

💡 このカメオはかつてバイエルン王家の所有物でしたが、ハプスブルク家によってウィーンに移されました。

04 エジプト古代 エジプト部門

トウトモス3世の胸像

新王国時代の法老トウトモス3世を写したリアルな肖像彫刻です。厳格な表情と詳細な装飾は、エジプト芸術の高度な技術を示しています。エジプト部門の入口付近にあり、最初の印象を決定づける重要な作品です。

💡 エジプト部門には1万7,000点の収蔵品があり、そのうちわずか4,000点のみが展示されています。

05

エジプト古代 エジプト部門

青いヒポポタマス像

青銅製のヒポポタマス像は、女神セクトの化身とされています。鮮やかな緑青の色合いが特徴的で、エジプトの宗教的象徴性を示しています。日常用品から神聖なオブジェまで、エジプト文明の多様性を理解する手がかりになります。

💡 この像は19世紀初頭にハプスブルク家が収集した**1万2,000点**のエジプト起源の資料の一部です。

06

レンブラント オランダ派画廊

レンブラントの自画像

レンブラント晩年の自画像は、深い陰影と心理的な深みで知られています。画家自身の顔貌の変化と内面的な葛藤が描かれており、バロック期オランダ絵画の核心を突く作品です。照明の使い方（チーロ）の極致とも言えます。

💡 レンブラントは生涯に多数の自画像を描き、その数は**90点以上**に達すると推定されています。

07

カラヴァッジョ イタリア派画廊

カラヴァッジョの聖母子

カラヴァッジョの劇的な明暗対比（チェラート）が際立つ作品です。聖母マリアと幼子イエスの親密な関係が、現実的なタッチで表現されています。イタリア・バロック絵画の革新性を示す重要な例です。

💡 カラヴァッジョは革新的な画法のために教会から追放され、流浪の生活を送りました。

08

中世初期 古代ギリシャ・ローマ部門

ナギセンティミクロシュスの宝物

大移動時代から初期の中世にかけての黄金装飾品群です。複雑な文様と貴金属の加工技術は、当時の社会構造と信仰を反映しています。考古学的価値が高く、展示ケース越しにその輝きを堪能できます。

💡 これらの宝物はハンガリーで発見され、ハプスブルク家のコレクションに加わりました。

アドバイス

完璧な訪問のための戦略

TIMING

木曜日の夜（21時まで開館）を狙うことを強く推奨します。昼間の混雑がなく、フレスコ画の詳細を撮影したい写真家にとって理想的な静かで明るい環境が提供されます。

PARCOURS

まず英雄の階段から始め、次に1階のブリューゲル室へ直行しましょう。その後、地下のエジプト部門へ移動するのが効率的です。完全な没入型見学には3〜4時間を見込んでください。

PAUSE

1階のドーム下にあるカフェ・レストランでコーヒーを飲みながら訪問を終えてください。激しい文化的体験を消化しつつ、周囲のネオ・ルネサンス建築を楽しむことができます。

AUDIOGUIDE

コレクションは広大で分散しているため、オーディオガイドは必須です。ハプスブルク家の作品を正確な文脈で理解し、複雑な歴史的説明を見逃さずに楽しむために活用してください。

BILLET

ハイシーズン（7月〜8月）や週末はオンライン予約が必須です。最大30〜45分の待ち時間を回避できます。2026年9月8日以降は時間枠指定チケットのみ有効になるため、事前に確認してください。

PHOTO

常設コレクションではフラッシュなしの写真撮影が可能です。木曜夜の静かな時間帯に、英雄の階段やドームの装飾を撮影するのがベストです。特別展の場合は個別制限を確認してください。

ENFANTS

19歳未満は無料入場です。オーディオガイドには子供向けの内容もあり、魅力的な考古学セクションを通じて歴史を学ぶのに最適です。歩きやすい靴を履かせてあげてください。

CONFORT

博物館は広大で複数の階と翼があります。多色大理石の床や広々としたホールを疲れずに散策するために、快適な靴をご用意ください。一部の歴史的空間ではエレベーター利用が必要です。



よくある質問

よくある質問

クンストゲシュichte博物館の入場券は予約する必要がありますか？

はい、オンライン予約は強く推奨されます。特にハイシーズン（7月～8月）や週末には必須です。これにより、最大30～45分かかる待ち時間を回避できます。休暇期間外の平日であれば窓口での購入も可能ですが、リスクがあります。

どのチケットを選ぶべきか：標準券还是コンボパス？

KHMのみを訪問する場合は標準券で十分です。同日にエフェソス博物館やノイエ・ブルクの貨幣館などの提携博物館も訪れる予定の場合は、コンボパスを選択してください。購入前にパスの有効期限をよく確認してください。

割引や特別料金がありますか？

19歳未満の子供は通常無料入場です。学生や団体向けの割引料金もあります。ウィーンに長期滞在する場合、季節限定プロモーションや年間パスについては公式サイトをご確認ください。

予約のキャンセルや変更は可能ですか？

キャンセルポリシーは購入したチケットの種類によって異なります。多くのオンラインチケットでは、訪問日の24時間前まで無料キャンセルが可能です。スケジュールの柔軟性を確保するため、購入時に具体的な条件を確認してください。

クンストゲシュichte博物館と帝国宝物庫の違いは何ですか？

これらは別々の施設です。KHMはリングシュトラッセにあり、絵画や古代遺物を展示しています。帝国宝物庫はホーフブルグ宮殿にあり、王冠や scepter などの王室用品を収蔵しています。ルート計画の際に混同しないようご注意ください。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

科学的双生児

建物はリング通り沿いの自然史博物館と対称的に配置されています。この配置は芸術と科学を統一する帝国のビジョンを反映し、ウィーンの2つの主要文化機関間に強力な建築的対話を生み出しています。

博物館として設計された建物

ルーヴルやエルミタージュ（旧宮殿）とは異なり、この建物は1871年からコレクションを収容するために特別に建設されました。その博物館としての機能は初期設計図の段階で定められ、保存と展示のための空間が最適化されています。

来場者数の記録

2024年には約195万人の訪問者を受け入れ、ウィーン的主要な文化的アトラクションの一つであり続けています。この混雑は、古代美術とヨーロッパ史愛好家にとって必見の目的地であることを確認しています。

壮麗なドーム

中央ドームは巨大な絵画と豊かな装飾で飾られています。この建築的な演出は、多色大理石と金箔装飾で全体印象を支配し、発注者である皇帝を称賛しています。

博物館周辺

美術館の周辺はウィーンの文化的中心地であり、リングシュトラッセ沿いに多くの名所が点在しています。向かい側にある自然史博物館は建築的雙生児として、巨大な化石や動物学コレクションを展示しており、両館を巡る一日がおすすです。また、ホーフブルク宮殿内にある帝国財宝庫では、王冠や権杖など王室用品をご覧いただけます。休憩には、オペラ座近くの伝説的なザッハー・カフェで本格的なザッハトルテを楽しむのが伝統的です。ベルヴェデーレ公園ではバロック庭園を散策し、文化的刺激を消化しながらリラックスできます。



ウィーン・美術史美術館での時間は、単なる鑑賞を超え、帝国の魂に触れる旅となります。大理石の冷たさと絵画の温かさが交差する瞬間、あなたは過去と現在をつなぐ橋の上に立っています。この記憶は、あなたの心の中に永遠に残るでしょう。